



新年の挨拶



● 新年を迎えて

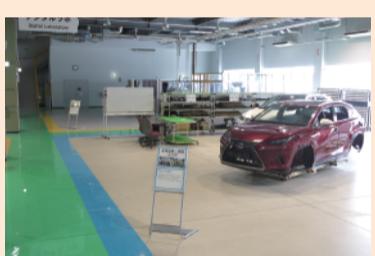
新年明けましておめでとうございます。こうして新年を無事に迎えることが出来ましたのも、社員の皆様をはじめ、ご家族、パートナー会社様、お客様、地域の皆様など、全てのステークホルダーの皆様のおかげです。改めまして、心より感謝申し上げます。

● 2019年を振り返って

VISION 2020の4年目、成果をさらに飛躍させる“改善”の年として様々な制度や施策を実践した年でした。

1. 要素技術の強化

- ・本社技術センターに“デジタルラボ”を新設。デジタルをリアルで検証することで、計測・CAE・ロボットの各要素技術の高度化を進めてデジタルツインを構築し、バーチャル号試*を実現させていきます。



▲デジタルラボの様子
※号口試作…量産開始前に実際の製造ラインで本生産と同様に試作車を製造すること

2. デジタルエンジニアリング(DE)の革新

- ・DEの革新を目指して“T-PEQ’s構想”がスタート。品質情報を軸として、様々なエンジニアリング情報の連携を進め、設計～生産～製造のプロセスをデジタルで革新し、生産業務を理想的な姿に変えて行きます。

3. 技術開発・物販体制の強化

- ・技術開発：デジタルツインの構築に向けて、“可視化”をターゲットにリソースを集中させ、産学官との連携も強化して高度な技術の共同開発に着手するなど、“選択と集中”をスローガンに取組みを進めました。
- ・物販：今年度目標に対して、これまでの営業実績・ノウハウを基に販売計画を打ち出し、一歩一歩着実に推進しています。

他にも、働き方改革の一環としてテレワークの適用拡大やコアタイムの廃止、キャリアチャレンジ制度の定着など、より働きやすく、働き甲斐のある会社にするための制度や施策の改善も実施しました。また、4年目となる生産性向上活動では、実務に加え、マネジメント層や間接部門による効率化も進めました。

● 2020年に向けて

我々を取り巻く自動車産業の環境が100年に一度の大変革期に突入するなか、トヨタ自動車(株)様はカーカンパニーから“モビリティカンパニー”への大改革を進められています。TPECとしても、会社の経営理念である“常に情熱をもってデジタルエンジニアリングを革新し、みんなの笑顔を創ります”をぶれることなく実践し、エンジニアリング技術を高め、会社の更なる成長・発展に繋げ、新時代を生き残っていきたいと考えております。

1. 要素技術の更なる高度化&適用拡大

- ・要素技術の高度化を更に加速させ、デジタルツインの構築や、デジタルエンジニアリングの革新を実施。それらを実際のプロジェクトに適用し、更に高精度で高品質な車づくりの実践に活用していきます。

2. 新領域の拡大

- ・これまで部署の垣根を超えた連携で促進してきた、新領域における技術の手の内化を継続。今後は中長期目線でこれらの事業性を検証しながら、引き続き業務領域の拡大を推進していきます。

3. 会社基盤に関すること

- ・働き方改革として、これまで様々な取組を実施してきましたが、皆さんのWLB*がどう変わったのか、新時代にあった働き方にマッチしているかを検証し、改善していきます。
- ・変革に対応できる体制を構築すべく、“自立化”に向けた検討を行っています。その一環として、業務のフリーロケーション化(いつでも・どこでも)や、海外業務の拡大戦略を推進していきます。

*work-life balance…仕事と生活の調和のこと

● 最後に

今年はVISION 2020の最終年度です。“今は苦しいが、VISION達成に向けた頑張りどき”です。これまでの取組みの集大成として、目標達成に向けて全社一丸となって活動をやり切りましょう。

これからも皆様とともに、ONE TEAMで成長と発展を継続していきます。

明るく、楽しく、元気よく、

笑顔で頑張りましょう!!

代表取締役社長 馬場 章友

ONE TEAM
One for all
All for one ☺
"Work with Smile"
Akutomo Baba

デミング賞表彰式

●デミング賞授賞式参加<11月6日(水)>

トヨタ自動車九州(株) (以下TMK) が2019年度デミング賞大賞を受賞され、経団連会館(東京都千代田区)にて実施された授賞式に、ご厚意によりTPECも出席させて頂きました。

TPECはTMKにおけるTQM^{*}強化活動の1つである開発・生産効率化W/G活動に2017年より参加し、計測やCAEといったデジタルエンジニアリングを軸に協業させて頂いています。今回のデミング賞大賞受賞報告で事例として紹介された、Rrバッパーの撓み予測でもTMKご協力の下、実部品との検証を進め、CAEの精度を向上させることで効率化に貢献することができました。

今後も品質向上の一翼として活用出来るデジタル技術力を磨き、より一層いいクルマづくりに貢献出来るよう取り組んでいきます。

※TQM…Total Quality Management
総合的品質管理



▲受賞されたTMK永田社長(前列左から3人目)

商品紹介

デジタルエンジニアリング革新室

●日頃の計測業務の効率化・標準化を実現

製品や治具の三次元測定業務のソフトウェアとしてPolyWorks^{*}を活用する会社が増えてきています。そこで私たちは“誰でも簡単に使える汎用的な機能”をコンセプトにPolyWorksアドオン機能である「TPECカスタマイズ」を開発し、2019年5月より販売を開始しました。

従来の標準機能では、測定ポイントや板厚を1点ずつ付与したり、測定後の実寸値や誤差値を帳票へ手入力したりと、多くの工数を要していました。「TPECカスタマイズ」ではこれらを自動化し測定業務の効率化と入力ミスによるやり直しもなくすことが可能となり、品質・付加価値を向上しました。

現在、私たちは3名のチームで、計測機ハードを含めた計測システムの開発・販売・サポートをしています。今後はT-PEQ'Sの基軸である品質情報を、製品・工程・設備間で連携すべく、計測システム全般を提案していきます！

※PolyWorks…各社計測機を制御可能な計測用ソフト
お問い合わせ先 Polyworksサポートチーム
TEL 0565-75-6726



▲TPECカスタマイズのロゴとチームメンバー

内定式

総務部

●2020年春入社予定者全員集合! <10月31日(木)、11月1日(金)>

内定式を実施し、2020年入社予定の全15人が参加しました。今年は受講者同士の緊張を解きほぐす為に、アイスブレイクとしてマシュマロチャレンジ(パスタ麺をつないでタワーをつくり、高さを競うゲーム)を実施しました。初顔合わせでの共同作業ではありましたが、グループ対抗で白熱する中で徐々に距離が近づき、連帯感が生まれました。



▲アイスブレイクの様子。パスタ麺でマシュマロタワー作り。よりタワーが高いグループが勝ち！



▲内定証書授与の様子(左は間澤常務取締役)

さらに、新しい取り組みとしてMOS^{*}のEXCEL模擬試験を行いました。ビジネスマンの基本ツールの1つであるEXCELについて一人ひとりの現状の実力を把握してもらうことを目的としており、これから宿題にも取り組んでもらい、入社までに各自レベルアップを図ります。入社当日にテストを実施する予定ですが、その時の成長が楽しみです。

※MOS…Microsoft Office Specialist



▲EXCELレベルチェックの様子 悲喜交々…



▲同期のつながりを大切に、頑張りましょう！